

2019年 7月発行

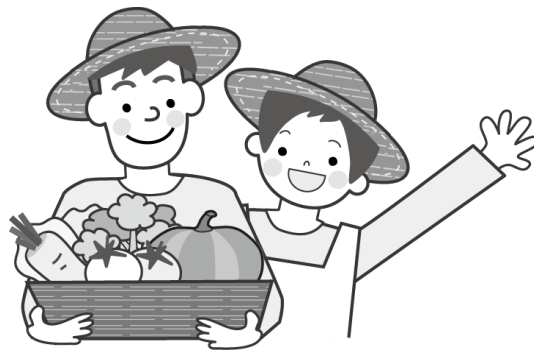
山梨県 桃の会

HP <http://momonokai.org/>

E-mail meri-sannokuni@softbank.ne.jp

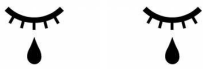
会報第58号

共感する、人を思いやるということは
人の喜びが自分の喜びになる
人の悲しみが自分の悲しみになる
そして、自分自身もささいなことに
感謝できることに喜びを感じるようになる
人のためを思うことは実は自分の方が
豊かにされている



出会う、つながる、わかちあう

K H J 全国ひきこもり家族会連合会 山梨支部



ピア Voice

つらく悲しい！！一連の事件は家族にはとても衝撃的で過激な報道に傷つくこともあった・・・みんなの声です

- ◆ 親の都合が優先している事件には怒りを感じる
- ◆ 今は落ち着いているが何か起きるかもしれないという危機感をもった20年後、もしかしたら・・・という思いが脳裏をかすめる
- ◆ 自分の家族はちがう！そう思いながらも不安がつり具合が悪くなった
- ◆ ひきこもり=犯罪者 ではない！偏見の広がりが怖い（全員が感じている）
- ◆ 胸がドキドキして体調不良・・・この話題に触れたくない
- ◆ 加害者の孤独感を感じる
- ◆ 報道を見ると自分のことを言われてる気がしてしょうがない（当事者）
- ◆ 「やっぱり起きたか」という思い。怒りがたまっていたのか
- ◆ 家族の相談場所が必要、誰かとつながること、理解してくれる人との出会いが大事
- ◆ 怒りの感情ばかりが発散される社会になった
- ◆ ネットゲームの影響があるかもしれない ゲームと同じように強くなれると錯覚する
- ◆ ひきこもり問題を再認識する機会になればいい
- ◆ 家族はどうしても「隠そう」とする心理が働く オープンにできたらいい
- ◆ 私達はみんなお互いが迷惑をかけながら生きている





ジョニーさん

ありがとうございました！

ジョニーこと奥村義行さん
名古屋から出かけて下さいました。

17年間のひきこもり経験から少しずつ社会とのつながりを持ちながら
今の職について4年、仕事をしながら家族会や仲間のための
ボランティアに携わることはとてもエネルギーを要することでしょう
しかし、人とのかかわりは自分のためになる
自分を変えていくことだと話してくれました。

4年間働いている現在の職場で仕事以外の会話は
殆どないということには驚きでした・・
ジョニーさんは「自分からカベを作っているかもしれない」と
言われましたが、仕事仲間としての「つながり」ができないことに
現代社会の孤立化を感じとても異状に感じられました。
若者が社会に出て中々、定着できない原因
ひきこもり状態の人が154万人達していることがとても納得できます。

職場以外で気の合う仲間が作れると少しはエネルギーの補給になるでしょう
やはり、今そんな居場所が求められているのでしょう。

 Sino

♥♥ ピアサポート 行っています！

ピアサポートは同じ仲間同士の仲間ならではの話し場です。
1人から4~5人のグループで行います。グループの場合、
集まりやすい地域の方で集まります。
話す 聴く、楽しい話題も__。
自分と向き合っていきます。



これらの事件を無駄にしないために !

空の声を聞きたくて

山田孝明

内閣府が3月末に40代以上のひきこもり実数（推定）61万にと発表した。その後川崎小学生殺傷事件・練馬元事務次官殺人事件など立て続けにおきた。8050問題がマスコミにさかんに報じられた。私にもコメントなどを求めるマスコミが殺到した。加害者にあつて話を聞いたわけでもないのでもともとコメントはだせないと思っていた。特に現場を持つ人間なら例えば、元事務次官と子供との親子関係に誰が介入することができるのだろうか？誰もできないだろう。

家族会に来ている親の苦悩を聞けば当然なことだ。テレビで現場を持たない専門家と称している人のコメントを聞けばこの人は専門家と称して生計を立てているのだろうと考えてしまう。ただ 私は現場を知らないしまた持っていないので、推測でしか話せないと断ってくれたらいいなと思う。

マスコミは煽り立てることにエネルギーをそそいでいるのだ。一方でマッチポンプのポンプも用意していて、「ひきこもりの偏見の助長」につながると火消しにやっきとなる。

私たちはふらふらにさせられるのだ。いま、やっと忘れ去られようとする時間が経とうとしている。

私が言いたいのはそのような専門家と称している人たちに今日のひきこもり問題が託されていることが私たちの悲劇であると

（桃の会 スーパーバイザー）



「希望への声が聞きたい…」

一見静かに生活を送っているかのように見える社会に馴染めない人達、
全てではないが限界に達する時がくる。その時どういう行動に出るかなのだ
暴力が自分に向かうか他人に向かうか 一つの事件は親として平静に考える時間を
なくしてしまった。

他人を殺してしまうかもしれない息子を親の責任として、自分が先に殺すしかない
という親としての責任を果たしたかのような結果の悲惨な結末である。

他者の命と子供の命、どちらも大事な命、他者の命を救って自分の子供の命を
断っても良いということはない。その事を冷静に考える時間がなかったのか
暴力に解決の糸口はない。悲しみ 怒り 憎しみのみが残るその感情が増幅して
いくだけなのである。

暴力は誰に対して向かうものであっても、幼稚で野蛮な行為である。命に対しての
尊厳がどんどん希薄になっていくように思えてならない

人間は肉体だけではなく心と共に生かされている。目に見えない「心」の痛みや
傷は、本人の訴えがとても重要である。訴えても受け止められない

又は人との関係がないと、その人の心の叫びはそのまま埋もれてしまう。心のバラ
ンスを保つということは、自分の心情を誰かが理解してくれていて支えられている
という安心感があるということである。そのバランスを崩すと社会の中で
「生きていく」ことが難しくなる。

孤立は人のことより自分の方が優先するようになり、人が信じられなくなる。

一連の事件はその事をはっきりと立証しているように思う。

人と人が関わることで生じる「心の栄養」私達はそれなしでは社会的生活を
送る事ができない

たとえ素晴らしい能力があっても「できる」事があってもである。心のない社会は希
望のない社会である。人間が人間を滅ぼしていく

今回の事件では、ひきこもりの人のみへの偏見で終わらせてはならない。

頻繁に起きている、いじめ 虐待 不登校等も含めて私達がそのような社会を
作りあげてきた結果生じた悲しい残念な事件であるということに向き合わなくては
ならない

他人ごとではなく、今自分の足元から崩れはじめているこの社会的危機を強く認識
する時である。

最後に事件に巻き込まれた尊い命に祈りを捧げたいと思います。



7月月例会

発達障害について

- * 日時 7月21日(日) 13:30~16:30
- * 場所 山梨県福祉プラザ 4F大ホール
- * 参加費 一家族 1000円 (当事者は無料)
- * 講師 橋本 和仁氏
プロフィール 臨床心理士 企業対象のメンタルヘルス対策 個人カウンセリング
ストレスチェック 講演活動等幅広く活躍。
- * 内容 発達障害は多くの場で取り上げられるようになり 言葉や文字では頻繁に見聞きするようになりました。しかし一人一人の違いを理解するのは難しい所があります。それは様々な特性が重なりあって一つの枠の中にはめ込むことができない障害だからだと思います。「もしかしてうちの子供は発達障害かも」と思っている方も多いのではないのでしょうか。今回、臨床心理士の橋本和仁氏をお迎えしてお話を伺います。更に理解を広げる機会になればと思います。沢山の方にお集まり願えればと思っております。



7月ミニグループトーク

- * 日時 7月28日(日曜日)10時~12時
- * 場所 山梨県福祉プラザ4F 第一会議室
少人数でゆったりとお互いに語り合う場です。参加費は500円です (当事者は無料)



当事者スペース再開！！

7月21日(日曜日)13時30分~16時30分 パソコン室

<p>農園でギャザリングしよう！ 画55㎡(約17坪) 1年間 市民農園：1区6,000円 場所：甲府市七沢町 友達、家族などで一緒に畑で過ごしませんか！ お問い合わせ：055-243-0261 (相良農園)</p>	<p>すみれ会 月例会：7月13日(土)13:30~15:30 場所：南アルプス市市民活動センター お問い合わせ：090-5416-8748 (清水) *すみれ会は桃の会とは別に地域で活動している家族会です</p>
<p>New! 自然の中で農作業(さくらんぼ・西洋梨)に関わりながら 社会に出るきっかけのお手伝いが出来ればと思います。 ご興味のある方は、御連絡下さい 岩原果樹園 (090-8178-8031)</p>	



8月の予定

月例会 8月18日(日)

ミニトーク 8月25日(日) 場所はどちらも福祉プラザです

お問い合わせ TEL&FAX 0266-55-5411 090-6190-8677 桃の会事務局

